

製品名: C5a ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87501**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:188 kDa; Observed MW:115 kDa

抗原情報

遺伝子名	C5a
別名	C5D; C5a; C5b; ECLZB; CPAMD4
遺伝子ID	727
SwissProt ID	P01031
免疫原	ヒトC5aの組み換えタンパク質

背景

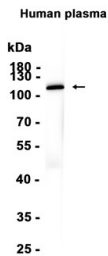
この遺伝子は、炎症、宿主恒常性維持、および病原体に対する宿主防御において重要な役割を果たす自然免疫系の一部である補体系

の構成要素をコードしています。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解を受け、C5 α 鎖、C5 β 鎖、C5a アナフィラトキシン、C5b など、複数のタンパク質産物を生成します。C5 タンパク質は、ジスルフィド結合で結合したC5 α 鎖とC5 β 鎖で構成されています。転換酵素による α 鎖の切断により、強力な痙攣誘発性および走化性活性を有するC5a アナフィラトキシンと、膜侵襲複合体 (MAC) のサブユニットであるC5b 高分子切断産物が生成されます。この遺伝子の変異は、反復性細菌感染を特徴とする疾患である補体構成要素5欠損症を引き起こします。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2015年11月]

研究分野

-

画像データ



C5a ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト血漿組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。